

事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	食育推進計画推進事業			事業コード	2385
所属コード	069200	課等名	健康推進課	係名	成人保健担当
課長名	吉田 信二	担当者名	袴田 麻里子	内線番号	691-6222
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード	1
	施策	健やかに暮らせる健康づくり	コード	1
	基本事業	健康の保持増進	コード	1
予算費目名	一般会計 4 款 3 項 2 目食育推進協議会委員報償金（001-01）			
特記事項				
事業期間	☐ 単年度 ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度	開始年度	20 年度	
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

食生活の乱れ、食の安全・安心の低下など、食をめぐる様々な社会問題が生じている中、様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人を育成する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 17 年度食育基本法が策定され、国・県では平成 18 年度に食育推進計画が策定された。

盛岡市でも平成 20 年 10 月に盛岡市食育推進計画が策定、平成 25 年 1 月には第二次盛岡市食育推進計画が策定され、それに基づき食育推進担当課 10 課（市民活動推進課、消費生活センター、児童福祉課、農政課、業務課、健康福祉課、学校教育課、生涯学習課、当課）が中心となり業務を推進している。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 21 年 4 月、推進の事務局がそれまでの農政課から当課に変わり、担当課がそれぞれ食育推進関連事業を円滑に推進するよう事務局として進めている。

2 事務事業の実施状況 (Do)・・・・・・・・

(1) 対象（誰が、何が対象か）

市民

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 市民	人	291,880	292,780	298,000	299,220	3,000,000
B						
C						

(3) 24 年度に実施した主な活動・手順

平成 20 年度に策定した盛岡市食育推進計画の最終年度であり，二次計画作成を予定していたので，食育推進担当課を二次計画作成の為に 3 課（生活衛生課，環境企画課，健康福祉課）を入れた 11 課で評価，検討し平成 25 年 1 月に「第二次盛岡市食育推進計画」を策定した。担当学会議 4 回，庁内ネットワーク会議 3 回，食育推進協議会 3 回を開催。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 保健所が行う栄養教室等への参加者数	人	1,578	2,110	1,400	1,955	2,300
B 食生活改善推進員が地域で行う栄養教室	人	6,122	5,118	7,000	6,575	5,600
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

食生活や健康を見直し，食に関する知識と選択する力を培い，健全な食生活を実践できる人を増やす。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 朝食を食べる人の割合	■上げる □下げる □維持	%	86.1	85.8	90	86.9	90
B 成人肥満者の女性割合	□上げる ■下げる □維持	%	23.0	23.4	20% 未満	23.08	20% 未満
C 学校給食への地場産品の活用割合	■上げる □下げる □維持	%	57.03	57.03	45	57.03	60

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22 年度実績	23 年度実績	24 年度計画	24 年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	8	8	260	243
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	8	8	260	243
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	949	523	500	1323.25
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	3,796	2,091	2,000	5,293
計	トータルコスト A+B	千円	3,804	2,099	2,260	5,536
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

健康を保つためには、健全な食生活を実践できる人を育てることに通ずるので整合性がある。

② 市の関与の妥当性

法定事務なので妥当である。

③ 対象の妥当性

法定事務なので現状で妥当である。

④ 廃止・休止の影響

第二次盛岡市食育推進計画の期間が平成 25 年度～29 年度までとする食に関する市の行動計画であるので、影響がある。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

向上余地あり。市民一人ひとりが食生活に関心を持つよう、健康づくりサポーターの活動やメニューの提供を積極的に行っていく。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

食育を推進する対象は市民であるため、公平・公正である。

(4) 効率性評価

食育推進計画の推進のための経費は食育推進協議会の交通費及び、本編印刷の紙代のみのためこれ以上削減できない。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）改革改善の方向性

第二次盛岡市食育推進計画を 24 年度に策定したので，今後担当課と協力し推進していく。

（2）改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

事務局担当である当課が，中心となって進めているところであるが，食育推進事業は各担当課でそれぞれ推進していく。また共通する部分については各担当課と協力分担して業務を行うことが必要である。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）今後の方向性

- ☒ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☐ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

（2）全体総括・今後の改革改善の内容

平成 25 年度から 29 年度までの「第二次盛岡市食育推進計画」に基づき，食育を通じて市民一人ひとりの健康づくりを推進する。